



No.316
2020

広報 よろん

特集

- 1) 令和二年度 施政方針と予算編成
- 2) 「美ら星ぬ島・与論島」をめざして

ひとの動き

【令和2年4月末時点】

人口
5,222人
男：2,530人
女：2,692人
世帯数
2,636世帯

与 広報 よろん

2020年 NO.316

編集・発行 与論町総務企画課

〒891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花1418-1
TEL: 0997-97-3111 FAX: 0997-97-4196
WEB: <http://www.yoron.jp> メール: sy-kouhou@yoron.jp



与論小学校（21名）



茶花小学校（25名）



那間小学校（8名）



与論中学校（60名）



与論高校（41名）



与論小学校（16名）



茶花小学校（28名）



那間小学校（16名）



与論中学校（45名）



与論高校（49名）



ご入学おめでとうございます



ご卒業おめでとうございます



令和二年度
施政方針

昨年は「令和」という新しい時代が幕を開け、本町の一大プロジェクトでありました新庁舎が完成するなど大きく変化した年でありました。

全国各地においては記録的豪雨や大型台風等により甚大な被害が発生しましたが、本町においては幸いにして大きな台風被害はなく平穏な一年であったと感じております。

◆島内主産業の動向

農業におきましては、台風や干ばつ等の影響が殆どなく、さとうきびの生育も順調で今期の生産見込量は、前期（2万4,396トン）とほぼ横ばいの見通しとなっております。3期連続の年内操業が継続され、早期肥培管理や早期植え付けにより生産性の向上が図られるものと考えます。一方で作付面積の縮小という課題への取り組みが重要となっております。

畜産業におきましては、引き続き高値取引が維持され、前期販売額から増加しており、本町の農業所得を大きく押し上げている状況が継続されているところです。

水産業におきましては、天候不良の影響

やソデイカ、タチウオの不漁等もあり、水揚げ高は例年に比べ減少が見込まれますが来期に期待したいと思います。

観光産業においては、天候不良等の影響により船舶の抜港・欠航が多く、旅行者の入込客数は横ばい状況となっておりますが、昨年は国際観光映像祭において、PR動画「ヨロン島8K」が入賞したこともあり、与論島を広く世界に発信できる好機と捉え、積極的なPR活動や事業展開により誘客に努めてまいりたいと考えます。

平成28年度の市町村民所得推計結果において、県内一人当たり市町村民所得増加率の最上位に本町がランキングされ、各種産業における労働・生産意欲の高まりを期待しているところです。

◆「星空の街・あおぞらの街」
全国大会を与論町で開催決定

令和2年度、本町においては、第32回「星空の街・あおぞらの街」全国大会の開催が決定しており、本町が多方面に広く情報発信できる機会が増えつつあり、観光交流事業等に期待を寄せているところです。

一方で、自然環境に対して過大な負荷を与えることの無いよう、観光振興と自然環境の保護の両立を図りつつ、オーバーツー

リズム等の弊害が起きないよう、関係機関とも連携しながら進めてまいりたいと考えております。

◆町政運営の基本方針

令和2年度の町政運営の基本方針は、昨年度町政2期目の所信表明に掲げました「人口減少対策」「福祉施策の充実」「産業の振興」「人材育成」「災害に強い町づくり」を政策の柱と位置づけ、各種施策事業を積極的に推進してまいります。

本町を取り巻く現状や今後の将来展望におきましては、人口減少による産業や地域機能への影響、高齢者等介護の問題、救急医療や防災の充実、住宅不足など取り組むべき様々な課題があります。

このような現状を認識し、重点項目として取り組むべき課題を見極めて、積極的に対策を講じてまいりたいと存じます。

今年度は第5次総合振興計画の最終年度になります。

これまでの取り組みの成果と課題を十分検証したうえで、これからの中・長期の実施計画を策定し、町民の皆様のご意見等を踏まえながら、本町が進むべき方向性を示す次期総合振興計画の策定を進めてまいります。

※重点施策について、詳細はP4～5に掲載

令和二年度 与論町の予算編成

今年度の予算が決定しましたので、お知らせします。

予算総額 60 億 8,850 万 8 千円（前年比 11.8%減）

一般会計（前年比 11.5%減） 44 億 5,824 万

特別会計 14 億 5,300 万 4 千円

水道

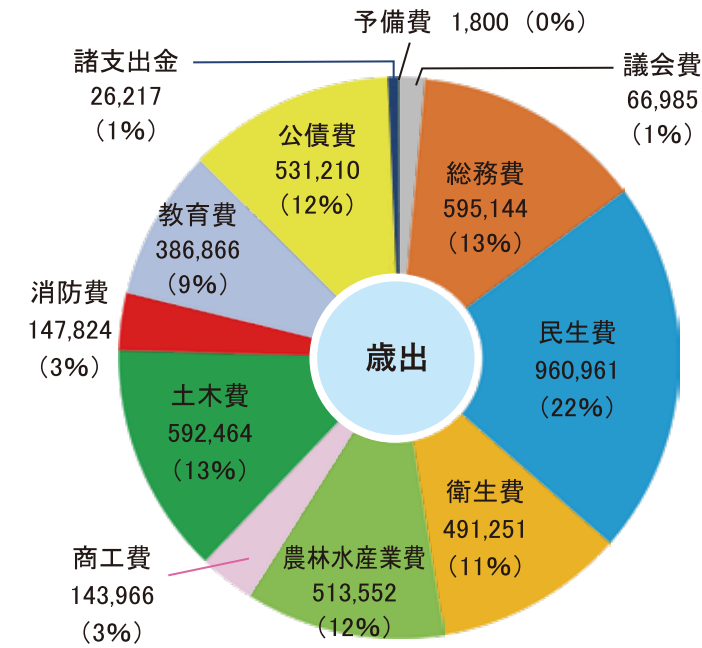
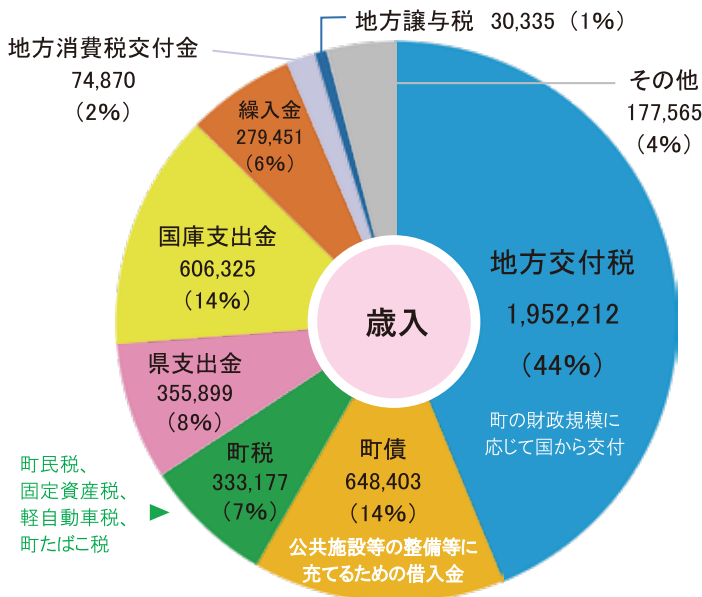
特別会計（前年比 13.5%減）

※国民健康保険（事業勘定）事業、後期高齢者医療事業、介護保険事業、農業集落排水事業、と畜場に係わる予算

水道事業会計（前年比 5%減）

1 億 7,726 万 4 千円

◆一般会計予算の内訳（単位：千円）



◆主な歳出予算について（主な事業等）

- 総務費：役場旧庁舎解体事業 … 4,680 万円
- 民生費：障害者福祉費 … 1 億 6,065 万 2 千円
- 衛生費：し尿・浄化槽汚泥処理施設整備事業費 … 2 億 6,544 万 7 千円
- 農林業水産費：漁港管理費 … 9,890 万 5 千円
- 土木費：西区住宅新築工事 … 1 億 4,300 万、瀬良座住宅 2 号棟改修工事 … 9,580 万、町単独改良事業費 … 7,154 万 6 千円
- 消防費：常備消防費 … 1 億 2,945 万 8 千円
- 教育費：B&G 艇庫改修工事 … 2,500 万円



役場旧庁舎解体事業

令和2年1月に役場新庁舎が落成しました。今年度は旧庁舎の解体事業を進め、今後の跡地利用については与論町役場旧庁舎跡地利用検討委員会で協議してまいります。



麦屋漁港水産基盤機能保全事業

漁業従事者の漁船の安全確保と施設整備の充実を図り、漁港としての機能保全を図ってまいります。



住宅整備事業

町内の公営住宅の需要や町営住宅の老朽化に対応するため、瀬良座住宅2号棟の改修工事を進めます。また、西区住宅整備事業、叶住宅の設計業務を推進してまいります。



茶花地区排水路対策

昨年度に引き続き、茶花信号機付近の湛水対策として暗渠を整備します。また、ウプインジュの一部を改良する事業計画及び上流域からの流入を抑制する対策を進めてまいります。



し尿・浄化槽汚泥処理施設整備事業

昨年度は用地購入と設計業務を行いました。今年度は、し尿処理施設整備工事の早期発注に努めるとともに、合併処理浄化槽の年次の整備を実施し、住環境整備と水質保全を図ってまいります。

【与論町の重点施策】

◆分野ごとの具体的施策・事業等

※施政方針より抜粋

第1. 保健・福祉・医療

1. 保健衛生について

- 町民の健康づくりに関する長期ビジョン「健康よろん21」に基づく健康づくり事業・施策の継続実施
- 島外における妊婦健診・出産時の宿泊費・交通費への公費助成
- 妊婦健診に対する公費助成制度の継続実施
- 島外での特定不妊治療を受診する際の宿泊費・交通費に対し、離島地域不妊治療支援事業による公費助成を継続実施
- 定期予防接種費用に係る町費助成の継続実施
- 感染症発症後の対策
- 火葬場の管理・運営に係る委託業務体制の安定的・継続的充実

2. 医療・介護・福祉について

- 子育て環境支援の推進
- （中学生までの医療費の一部無償化）
- ひとり親家庭医療費助成制度の継続実施
- 介護予防日常生活支援総合事業の推進
- 認知症総合支援事業の推進
- 高齢者の交通弱者支援（敬老バス無料乗車券・タクシー乗車助成券）
- 障がい者（児）施設入所者及び精神障害者（児）医療施設入院面会旅費補助事業、及び重度障がい者（児）島外医療機関通院旅費補助事業の継続実施
- 重度心身障害者医療費助成制度の継続実施
- 「町子育て支援金条例」に基づく、少子化対策及び出産奨励のための施策事業の継続実施
- 3歳～5歳までの全ての子ども並びに、3歳未満の住民税非課税世帯の子どもに対する、こども園保育料の無償化
- また、給食の副食費無償化を継続実施
- 障がい者等並びに乳幼児及び在宅寝たきり老人等の中で、常時、紙オムツを使用する者に対し、オムツ廃棄用「こみ袋を支給
- 与論町のち支える自殺対策計画の推進



第2. 産業の振興

1. 農業生産基盤の整備について

- ハギビナ地区の県営海岸保全整備事業の継続整備（高潮対策）
- 朝戸、那間北・南地区における県営農地整備の継続整備（畑地帯担い手支援型）

2. 農業の振興について

◇さとうきびの振興

- 生産安定対策として積極的な水利用の推進、堆肥及び緑肥など土壌改良資材を利用した土づくりによる生産性向上、適期管理作業等を含めた機械化一貫体系を行える受託組織の育成
- 生産技術対策（地域特性やほ場条件に適した品種の選定及び普及、調苗班の育成、病害虫防除対策）

◇園芸の振興

- 輸送野菜の生産拡大・品質向上のためのさといも優良種子導入、及び自家種芋確保対策、トンネル施設並びにパイプハウス等の資材導入、植付作業委託費等の一部助成
- 農林水産物輸送コスト支援事業等による輸送費支援

◇畜産の振興

- 優良飼料作物種子導入助成。低コスト飼料の確保と自給率の向上
- 優良素牛導入補助金による高齢母牛の更新と増頭

◇担い手農家の確保と育成

- 担い手農家・認定農業者の所得向上、経営改善を図るための各種研修会の実施

◇環境保全型農業の推進

- 堆肥センターの良質堆肥及び
- IPM技術を活用した環境保全型農業の推進
- 有機認証農家やエコファーマーの育成、農林水産物認証取得の推進



3. 水産業の振興について

- 離島漁業再生支援交付金を活用した諸事業を実施するとともに、農林水産物輸送コスト支援事業及び水産物流通支援事業の活用による漁家の経営安定及び販路拡大

2. 住宅の整備について

- 瀬良座住宅改修、叶住宅設計業務委託、西区住宅整備事業
- 与論町空き家リフォーム補助事業

3. 水道事業について

- 淡水化施設の保守点検の継続実施
- 漏水調査の徹底による有収率の向上
- 建設改良工事による老朽管路の更新

4. 農業集落排水事業について

- 新規機能強化対策事業の推進
- 放流水質の適正管理による環境汚染の防止



5. 環境保全について

- 「3R運動」の推進によるごみの減量化
- し尿処理施設整備工事、合併処理浄化槽の年次の整備の実施
- 6. 消防防災・防犯・交通安全について
- 新防災行政情報伝達システムの構築による防災体制の充実
- 各自治公民館の自主防災組織と連携した防災訓練の実施
- 防犯灯の維持管理等
- 関係機関と協力した各種啓発活動による交通安全の推進

第4. 教育・文化

- 豊かな人間性の礎となる体力・気力を醸成する教育の推進
- 海洋教育の推進充実
- 安全・安心な学校づくりの推進
- 与論への留学制度の工夫・改善と交流体験事業の充実
- 地域全体で子どもを守り育てるための取り組みを推進
- スポーツ施設の利用促進
- 文化の振興、文化財保存・伝承活動の充実
- 与論城跡の国指定に向けた調査事業、及び町民への啓発活動継続

第5. 町政運営の推進体制

- 定員適正化と組織改革、人材育成
- 「与論町行財政改革大綱」の策定
- 縮小社会に適応する公共施設の最適化
- 効果的・効率的な公共施設の利活用の推進
- 情報公開による外部意見の収集及び提言等の反映

環境省よりメッセージ

こんにちは。

今年度より1年間、与論町役場から、**環境省 水・大気環境局 大気生活環境室**に出向している**山 眞實**(やま まこと)です。
環境省では、「星空の街・あおぞらの街」全国大会の運営事務や光害対策ガイドラインの改定業務、星空観察の推進等の業務を主に担当しております。



島を離れ、未だに仕事や都会生活で分からないことや慣れないことばかりですが、役場在職中、公私ともに町民の皆さまに常々助けられていたことを思い出し少しでも恩返しできるよう日々業務に励んでいるところです。

星空は、季節問わず年中楽しむことができる貴重な地域資源であり、都市部では体験できない魅力的な観光資源です。
与論町は日本でも有数の星空鑑賞に適した環境を有しておりますが、LED 街灯の普及や夜間照明の増設等により上空に照射される光が増えてきている影響で、少しずつ星が見えづらくなってきていると言われております。そのため、光害対策ガイドラインの改定や本年開催を予定している「星空の街・あおぞらの街」全国大会等を通して、良好な照明環境の形成に向けて取り組み、与論町の星空の魅力を全国に発信して観光振興につなげていければと考えております。

全国大会の成功に向けて、町民の皆さまや関係機関、関係者の方々のご助力をいただきながら準備を進めていきます。
与論町の地域活性化のため一生懸命業務に努めて参りますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

光害とは？



照明器具から出る光が、目的外方向にもれたり、周辺の環境にあわない明るさや色であったり、必要のない場所または時間までついたりすることなどで、**周辺環境に悪影響を及ぼすこと**をいいます。



良好な「光環境」の形成が、人工光の不適切あるいは配慮に欠けた使用や運用、漏れた光によって阻害されている状況、又はそれによる悪影響のこと。

【光害の定義；(光害対策ガイドライン (H18.12 改訂版、環境省))】

図の出典) 光害啓発パンフレット (環境省)

居住者への影響！

道路・街路などの人工照明の光が住居内へ強く差し込むと、居住者の安眠、プライバシー等に影響を及ぼすことがあります。



研究・教育活動への影響！

人工照明から出る光が上方向に漏れることで、夜空の明るさが増し、星が見えにくくなっています。研究・教育活動等として行われる天文観察に影響が生じています。



エネルギーのムダ！

過剰な明るさや不必要な方向に漏れた光は、エネルギーのムダです。デザインを工夫するなど、明るさに頼らず、周辺環境に配慮した照明を使いましょう。



野生生物への影響！

野生生物には光に引き寄せられたり逆に光を嫌って逃げていくなど、さまざまな影響があります。夜行性生物などは住処に影響を受けます。



写真：原田誠一郎

「美ら星ぬ島・与論島」をめざして

わたしたちが住む与論島は、市街地や車の明かりが少なく、空気も澄んでいるため、きれいな星空をみることができます。また、南十字星などの本土では見ることができないめずらしい星や星座もたくさん観ることができ、実はとても恵まれた環境にあるんです。

当たり前すぎて気にしていなかったというあなたも、この機会にゆっくりと星空を眺めてみてはいかがでしょうか！

★第32回「星空の街・あおぞらの街」全国大会（11/14）の開催決定！

環境省などが主催する「星空の街・あおぞらの街」全国大会が、本年11月14日に本町で開催されることが決定しました。この大会は星空観察などの身近な方法により大気環境の保全に対する意識を高めることや、地域資源を活用した地域おこしを推進することを目的として毎年開催されています。

本町で開催される大会にも環境大臣や県知事など、多くのご来賓や天文ファンなどがご来島される予定です。

★星空ツーリズムの取り組み

星空ツーリズムへの関心が世界中で高まっています。

与論町では、この恵まれた“美しい星空”を生かした観光地づくりを進めています。

- ・学校等と連携した教育・啓発活動（星空観察会など）
- ・星空ツアープログラムづくり
- ・星空が観やすい環境づくり（街灯の改良などの光害対策）
- ・星空ガイドの育成
- ・星空イベントの開催や誘致
- ・星空観望スポットの整備や情報発信

星空観察会



“まずは島人に知ってもらおう”
与論高校も参加する島人向けの星空観察会などを行っています。

星空ガイドの養成講座



和歌山大学の先生に、宇宙の基礎知識から望遠鏡の操作まで教えていただいています。

和歌山大学との連携



和歌山大学観光学部と協定を締結し、連携して星空ツーリズムの推進等に取り組んでいます。



★星空が観やすい環境づくり（光害軽減対策）★

現在、与論町では星空が観やすい環境作りのため、街灯の改良など光害を軽減する対策を試験的に取り組んでいます。

【光害の軽減対策の例】

- ・不要な光は消す。
- ・常に照明が必要でないところはセンサー式照明を取り入れる。
- ・街灯などの野外照明は、光害対応の製品を導入する。
- ・街灯などに、フードやルーバー、遮光板などを設置したり、向きや角度を変えるなど、不要な方向に漏れる光をなくし、必要な方向だけに効率的に光をあてる。

LED 街灯の対策例



※光害軽減対策は、防犯等の安全性や人の活動に伴う快適性、エネルギーの効率性を損なうことなく、景観や周辺環境に配慮した良好な照明環境をととのえることが大切です。



▲何百年も受け継がれてきた芭蕉布製造



▲与論島芭蕉布保存会の菊秀史会長と友子さん夫妻（中央）



『芭蕉布製造技術』が 重要無形民俗文化財に！

3月16日、国は『与論島の芭蕉布製造技術』を「奄美群島の衣生活を理解する上で不可欠な技術継承であり、国内の衣料の変遷や染織文化の地域差を考える上でも重要」とし、重要無形民俗文化財に指定しました。芭蕉布は風通しが良く、軽くてサラリとした風合いで、亜熱帯の気候に適した着物として昔から着用されてきました。

糸芭蕉という植物の繊維から糸を作る芭蕉布。工程が多く膨大な制作時間を要することから、与論島で芭蕉布織りを伝承しているのは菊さん家族が経営する与論民俗村だけ。受け継がれてきた芭蕉布の製造を絶やさないうような活動を続けてきた成果が認められました。

今後は、芭蕉布の価値を町民を含む多くの人に知ってもらうことが大事。与論町としても、芭蕉布のPRに力を入れたいと考えています。

*重要無形民俗文化財：奄美では、「与論十五夜踊り（与論町）」と「諸鈍シバヤ（加計呂麻島）」、「秋名のアラセツ行事（龍郷町）」に次いで4件目。

平田氏が厚生労働大臣特別表彰受章



1月23日、多年民生委員児童委員として社会福祉増進に貢献された功績を認められ、平田暢孝氏（茶花）が、厚生労働大臣より表彰を受けました。平田さんは平成16年12月に民生委員児童委員に委嘱され、平成19年から与論町民生委員協議会の会長としての運営にも尽力するとともに他の委員の活動支援をはじめ、地域住民からの相談に適切に対応された15年間の功績が高く評価されました。

豊年祭・与論十五夜踊り



4月7日（旧暦3月15日）、豊年祭が行われ、地主神社へ与論十五夜踊りが奉納されました。新型コロナウイルス感染症対策として、観客は入れず、限られた参加者で縮小しての開催となりました。不安の多い日々が続いていますが、島民の無病息災、嶋中安穩の祈りをこめた奉納踊りが、天に届きますように。

新規採用・人事交流職員の紹介

新規採用



所属：茶花こども園
氏名：舟橋 凜
ふなばし りん

今年度から茶花こども園の保育士として採用となりました舟橋凜です。茶花こども園のベテラン保育士の方々にたくさん助けられながら、4月から子どもたちとともに元気に過ごしています。子どもたちは私が知らないたくさんのことをよく知っています。食べられる木の実が生えている場所や、空に浮かぶ雲がハートの形をしているなど、毎日子どもたちからも多くのことを学んでいます。子どもたちの感性はとても豊かで面白いです。新しい環境で慣れないことも多いですが、与論の温かい人々に助けられながらもしっかりと地に足をつけ自分も成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。

鹿児島県の人事異動



所属：教育委員会学務課
氏名：兒玉 拓世
こだま たくよ

こんにちは。このたび、与論町教育委員会に参りました兒玉と申します。20余年間の教諭生活を経て、初めて教育行政に携わることになりました。まだまだ業務に不慣れなことも多いのですが、役場の皆さんの温かい心遣いに支えられながら、日々、充実した心持ちで務めています。その一方で、学校の先生方はもちろんのこと、関係機関や町民の皆様方が与論町の子供たちの幸せと安全と豊かな育ちを心から願っていらっしゃることを、業務を通してひしひしと感じており、気が引き締まる思いでいます。微力ではございますが、精一杯努めますのでどうぞよろしくお願いいたします。

与論町と国頭村との人事交流



所属：商工観光課
氏名：渡慶次 勇樹
とけし ゆうき



国頭村役場の企画商工観光課へ異動した加藤です。ここでしか学べないことが多々あり、日々勉強しております。国頭村で得られたことを与論島活性化に十二分に活かせるよう、頑張っていきます。



与論町・国頭村の人事交流で、沖縄県国頭村から初めて与論町に来ました。まだまだ至らないところが多いですが、与論町商工観光課の職員として、精一杯、与論島の素晴らしい所を発見し、アピール出来るように頑張りたいと思っています。また、地域行事や地域活動にも積極的に参加したいと思っています。不慣れなこと、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

3 平成5年度の調査成果品等について

平成5年度に与論町教育委員会が主体となり、鹿児島県教育委員会協力の下、現在の十五夜踊り保存館周辺（当時は畑）や境内の土俵北側、境内北側のトイレ、南側の畑等で発掘調査が実施されています。

この調査では、現在の十五夜踊り保存館周辺で建物の柱跡や炉跡（鍛冶関係か）が確認された他、土俵前の調査区からは城が使われていた際の地面と考えられる層が確認されました。また、出土品についても約600年前の陶磁器（優品含む）や当時の食べかすと思われる動物骨が出土していることから、このお城で人が生活していたことが伺い知れました。

しかし、調査から二十数年が経ち、失われた情報、成果物もあるので、整理作業を行いながら今後の調査成果も踏まえて、成果の再検討、再評価を行っていきたいと思います。



約600年前の陶磁器（中国 龍泉窯産）



平成5年度 土俵北側の調査区



平成5年度 十五夜踊り保存館周辺

4 令和2年度の調査事業について

令和2年度は与論城跡の範囲を確定するため、城の周辺部の発掘調査を行います。

特に、指導委員会でも課題になった城域の北限を確定するため、十五夜踊り保存館周辺の広場も含めた調査を10月中旬から12月上旬にかけて実施する予定です。

12月には調査に併せて有識者によるシンポジウムや発掘調査成果の現地説明会なども計画しています。

発掘調査を行うにあたり、町民の皆様にはご所有の土地について発掘調査や調査に係る樹木類の伐採についてご協力をお願いすることや、各種ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、本町の新たな歴史の1ページを開いていくため、ご理解ご協力の程よりしくお願い申し上げます。

探しています！

与論城跡（地主神社・琴平神社・土俵周辺・サザンクロスセンター周辺）の古い写真や図面、絵画、記録を探しています。また、言い伝えや戦前の様子をご存じの方がおられたら、是非、与論町教育委員会の南までご教授下さい。何気ない話やものが与論城跡の姿を解き明かすヒントになるかもしれません。重ねてお願い申し上げます。 ▶与論町教育委員会 0997-97-2441

1 与論城跡の地形測量調査について

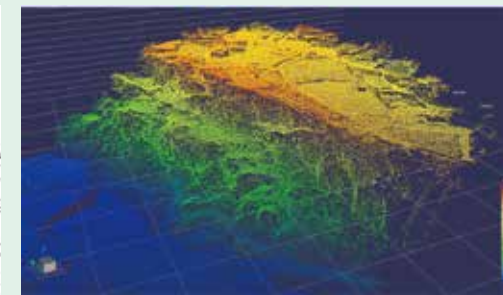
これまでに作成されていた与論城跡の地形測量図や縄張り図（城跡の石垣や平場の構造を略図化したもの）は、約20年前の地形図を基に作成されていたため、現在の状況と一致しない箇所がありました。

そこで、遺跡の現状を把握し今後の調査計画の基礎資料とするため、株式会社パスコに業務委託を行い与論城跡全域の地形測量図面を作成しました。

測量調査にはドローンや地上レーザーを用いた三次元測量を用いました。



与論城跡の地形測量図面



与論城跡の三次元データ

2 与論城跡発掘調査指導委員会・現地指導について

事業を実施するにあたり、調査成果の客観性及び学術的な有効性を持った調査を実施するため、町内外の有識者で構成された与論城跡発掘調査指導委員会を12月に開催しました。

指導委員会は、琉球大学教授の池田榮史先生（考古学）を委員長として、大野城こころのふるさと館長の赤司善彦氏（考古学）、ラ・サール学園中学部長の永山修一先生（文献史学 当日は欠席）、そして本町文化財保護審議会会長の麓才良氏（郷土史）の計4名で構成されています。またオブザーバーとして鹿児島県庁文化財課や鹿児島県立埋蔵文化財センター、文化庁第二課（当日は欠席）の職員も加わっています。

令和元年度の委員会では、令和2年度以降の調査計画や与論城跡の学術的な評価について検討が行われましたが、その中でサザンクロスセンター周辺と推測される城域の北限が現状では不明確であることから、調査の必要性が指摘されました。

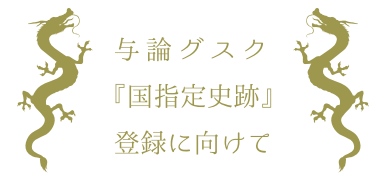
また、指導委員会と別に有識者による現地指導も実施しました。この中では、京都市埋蔵文化財研究所の宮原健吾氏による石垣等の測量調査方法や、指導委員会とは別に委員の先生から調査方法等について指導を頂きました。



与論城跡発掘調査委員会の風景
（クラブハウス2階）



有識者による現地指導の風景
（石垣の測量方法について）



与論町教育委員会では、令和元年度から5か年計画で与論城跡の国指定に向けた調査事業（町内遺跡発掘調査事業）を国・県からの指導、協力を得ながら実施しています。昨年度は、与論城跡全域の地形測量調査と有識者による与論城跡発掘調査指導委員会（以下、指導委員会）や現地指導を実施しました。※広報よりん314号に掲載
また、平成5年度に実施された与論城跡の発掘調査で出土した出土品や図面類についても、保管していた鹿児島県立埋蔵文化財センターから引き取りを行いました。今回はその成果について報告したいと思います。

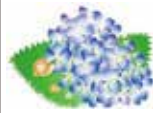
令和元年度の与論城跡調査事業について（速報）

○ 支えあい 共に生きよう 美しく
○ 「よっしゃ」と 気合かけるが 事ならず
○ 口だけは 老いを知らずに 絶好調
○ アチャアンマー お酒の量は ほどほどに
○ 安全に 心と体 健やかに
○ 参加して 十歳若くなり 健康フェスタ
○ あんた誰 言われてもなお 会に行くと
○ おじいちゃん 長生さしてね お願いで
○ お互いに ボケボケで 日が暮れる
○ 世は去り来 めぐりにめぐり まためぐる
○ 明日は我が身 今できる 優しい情け
○ 人生 長生き 楽しく暮らす
○ まささんと 寝められ 料理の腕上がる
○ 子だくさん だから私 すごく楽しい
○ 楽しんで 老後への道 健まつり
○ 年老いても 役に立つ人に なりたい
○ ちははが やばいよやばい 介護始まる

令和元年11月17日（日）に開催しました『健康フェスタ2019』にて、町民の皆様より作句いただいた川柳作品集になります。今回前編と、次回後編にわたり掲載させていただきます。

与論町地域包括支援センター

介護川柳 ～前編～



たくさん
皆さんの佳作を
ありがとうございました

～後編に続く～

○ ウブ パーパの 笑顔が見たい 散歩道
○ 手をつなぎ 一緒に散歩 楽しいな
○ 希望もち なかなかきえない 脂肪もつ
○ おかえりと みんな待つてる 大集合
○ お帰りと 迎えてくれる 祖母の笑顔
○ 楽しいな 孫との会話 一番のくすり
○ ダイエット 少し食べるの ひかえてみる
○ いからじどー なんちきむぬねーどー あんまー
○ くうらりゆうてい うらどう またりゆいどお
○ おじいちゃん おばあちゃん いままでもお元気で
○ ヨロン島 みんな長生き 長寿の島
○ 畑に行くの 祖父に 草取りするな
○ 三十五歳 まだまだ若い 言いきかす
○ じいじばあば いままで 元気にいてね
○ 今日も 元気な私 ありがどう
○ 古里の母に 今日は何したのと 日課の電話
○ パーパーと 遊んだあの日を 思い出す
○ わがまだだけど かわいいあなたが 大好き
○ 友人の 親を送る姿みて 我が姿 省みる
○ 介護師は 優しい情 つくすこと



令和元年度は全国から**4,565万5,068円**の
寄付金が集まりました。

項目別

事業別	金額	件数
サンゴ礁と共生する環境保全	25,090,000円	476件
離島の振興	16,556,638円	239件
与論十五夜踊りの保存	3,004,000円	39件
ヨロンマラソン大会の運営	924,000円	39件
指定なし	80,430円	5件
合計	45,655,068円	798件

寄付の財源化

使途内訳	金額
町マイクロバス購入費	5,810,200円
空き家リフォーム補助金	2,000,000円
海の再生支援事業補助金	1,181,000円
サンゴ祭り開催費補助金	1,000,000円
小中学校図書購入費	993,191円
与論城跡環境整備業務委託費	797,500円
サンゴ礁保全対策事業委託費の一部	638,000円
美ら島づくり費原材料費の全額	586,800円
B&G植樹祭開催費補助金	200,000円
十五夜踊り用のぼり旗	133,920円
合計	13,340,611円

★寄付者からのメッセージを一部ご紹介します★

◆与論出身者です。離島で生まれ育ったことを誇りに思いますし、今住んでいる子供たちにもそう思ってもらえと嬉しいです。

◆心奪われる素晴らしい自然と島人の生活文化がいつまでも守られますように。

◆与論島の海の色が忘れられません。また行きたいと思っています。そして、整備された数多くのトイレに驚きました。綺麗に清掃、管理されていて気持ちよく使用させていただきました。少しですがお役に立てれば幸いです。

◆昨年初めてヨロンマラソンに参加しましたが、町全体での応援に、頭の下がる思いで走りました。ずっと続けてもらいたいとお礼の気持ちでふるさと納税をさせていただきます。

◆ヨロンマラソンの中止を受け、島で使う予定だったお金をこちらで使わせてもらうことにしました。来年の開催に向けての応援の気持ちも込めて！

◆今は新型コロナの影響で行けませんが、落ち着いたらまた必ず行きます！今はふるさと納税で応援させてください。

◆故郷与論がこれからもずっと在り続けますよう。応援しています！

令和元年度

ふるさと納税



ふるさと納税から購入された新しい本に
興味津々な子供たち



植樹は子供たちの環境教育としても用いられています



リーフチェック(ダイバーによる珊瑚や生態系の調査)

いただきましたご寄付は
島のため、島に住む人・訪れる
人のために有効に活用して
まいります。

みっしーくーとうがなし！

ふるさと納税制度とは？

生まれ故郷や、ゆかりのある土地など応援したいと思う自治体に寄附し、地方を元気づけ、応援できる制度です。

◆お礼の品など詳しくは、『ふるさとチョイス 与論町』で検索できます ➡ <https://www.furusato-tax.jp/>



2018年度から与論中学校のふるさと留学生として、与論島生活をスタート。彼女が与論島を選んだきっかけは、与論島への家族旅行でした。

今夢中になっている事はなんですか？

水彩画です。アプリを使って水彩画イラストを描いています。学校の授業も美術の時間が一番好きです。砂絵、油絵やTシャツ、仮面作りなど幅広い内容を楽しんでいます。



Sさん
(与論高校2年)
*美術部に所属



Hさん
(与論高校2年)
*海が大好き。

中学2年生の頃、自分の周りで自然が少なくなっていくことに違和感を感じるのと同時に、自然豊かな場所で過ごしたいと感じるようになりました。知り合いから留学制度を教えてもらって与論島を知り、飛行機から初めてみた与論島の姿に感動し、ここに留学しようと決めました。

今夢中になっている事はなんですか？

里親さんが飼っている牛が出産を控えています。その出産を見ることです。目の前で命が誕生するのを見る機会はめったにないので、とても楽しみにしています。



ふるさと留学生の紹介

現在与論町には、高校に3名、中学校に1名の「ふるさと留学生」が在籍しています。与論町で学生生活を送ろうと思ったきっかけなどを聞いてきました。(4月時点)

*ふるさと留学生とは…島外から与論高校に入学・転入学する生徒のこと。(入試・選考等有)

高校卒業まで在席することが原則。ふるさと留学生として生活面などでの補助制度があります。

与論町ふるさと留学

検索

戸籍の窓

令和2年2月

令和2年4月

※出生、死亡、婚姻とも掲載許諾を頂いた方のみ掲載しています。(敬称略)

「誕生おめでとう」ございます

(氏名・保護者・集落)

2月届出分

3月届出分

4月届出分

嶺 心絵
清水 瀬菜
濱田 菜希
山田 千紗
竹内 博人
酒井 逢来
山田 涼真

2月届出分

3月届出分

4月届出分

いつまでもお幸せに♡

2月届出分

3月届出分

4月届出分

菅原 実
竹下 日向

3月届出分

4月届出分

5月届出分

6月届出分

7月届出分

熊谷 真実
町本 陽
北園 朋美
片山 哲治
3月届出分

那間 那間
鹿兒島
古里
東京
茶花

99歳 那間
97歳 立長
67歳 茶花
77歳 東区
90歳 那間

中山 喜夫
供利 ハナ
中名主 義美
仁禮 花子
福永 保
行野 光彦
重久 熊森
基 ナル子

2月届出分
3月届出分
4月届出分

79歳 城
99歳 立長
81歳 茶花
88歳 城
71歳 茶花
78歳 西区
94歳 東区

孝之
西区

田中 満良
堀江 マチ
町永 マコ
田中 吉富

84歳 叶
102歳 東区
101歳 茶花
91歳 茶花
98歳 西区

領二
城

2月届出分

84歳 叶

2月届出分

84歳 叶

2月届出分

84歳 叶

2月届出分

84歳 叶

2月届出分

84歳 叶

むし歯ゼロでした

(5歳児歯科検診R2.2.20)

- ◆池田 愛棚(あいな)さん
- ◆杉谷 寧音(ねね)さん
- ◆裾分 結香(ゆいか)さん
- ◆富岡 和輝(かずき)さん
- ◆箱山 道洋(みちひろ)さん
- ◆山下 朝輝(あさひ)さん
- ◆山本 菜月(はづき)さん
- ◆重 愛翔(まなと)さん
- ◆裾分 愛奈(あいな)さん
- ◆竹岡 みつきさん
- ◆西 海慶(うきょう)さん
- ◆森保 劉玄(りゅうげん)さん
- ◆山下 詩月(しづき)さん
- ◆行野 麻未(あみ)さん

(50音順)

目指せ！
8020！

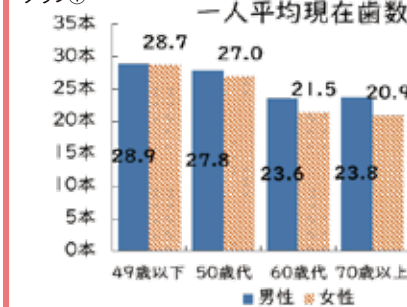


第7回

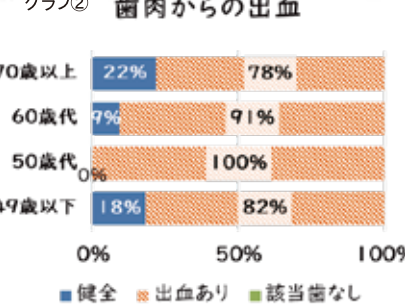
保健センターだより

歯周病検診結果から(R1.7月、10月厚生連健診と同時期実施)

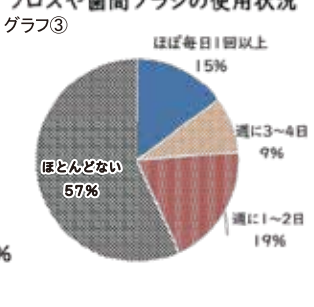
グラフ①



グラフ②



フロスや歯間ブラシの使用状況



上のグラフは昨年度厚生連健診会場で実施した歯周病検診(169名)の結果です。グラフ①をみると49歳以下では28本揃っている(親知らずが全部はえている状態が32本)状態ですが、70歳以上になると男性で23.8本、女性は20.9本と年齢を重ねるにつれ、歯が抜けてしまっていることがわかります。そしてグラフ②では各年代とも約8割の方が歯肉からの出血があるという結果でした。(50歳代はなんと全員出血あり) 歯肉炎や歯周病の予防には正しい歯みがきと合わせて、デンタルフロスや歯間ブラシの使用が効果的ですが、グラフ③によると、毎日フロスや歯間ブラシを使用している人はわずか15%という結果でした。80歳で20本以上自分の歯を保っていると生涯にわたって自分の歯でおいしく食べることができます。健康でいきいきと過ごせるように、毎日しっかりとセルフケアに努めましょう！ただし、できてしまった歯石は自分で取ることはできません。歯科医院を定期的に受診して、ぜひプロのメンテナンスを受けましょう！歯が抜けてしまった方も歯科医院を受診して適切な入れ歯等を利用することでしっかり噛めるようになりますよ。今年度も厚生連会場で歯周病検診を実施予定しています。受診料は無料となっていますのでこの機会にお口のチェックをおすすめします。

お口の健康セルフチェック！

歯周病の初期症状に気づいていますか？

- ☐ 朝起きたときに、口がネバネバする
- ☐ 歯の根元がしみる
- ☐ 歯石や歯垢がついている
- ☐ 歯が長くなったように感じる

1つでも該当したら歯周病の疑いがあります。歯科医院で相談しましょう。

- ☐ 口臭を感じる、口臭があるといわれる
- ☐ 歯と歯の間によく食べ物がはさまる
- ☐ 歯みがきの時に出血する
- ☐ かたいものを噛むと痛い、噛めない

健口習慣、いくつ実行していますか？

- ☐ 1日1回は丁寧にみがいている
- ☐ デンタルフロスや歯間ブラシを使う
- ☐ 口の中を鏡でよく見るようにしている
- ☐ 1年1回以上歯石を取ってもらっている

いつまでも健康なお口を保つために5つ以上の良い習慣があると良いですね。

- ☐ 歯と歯肉の境目をみがくようにしている
- ☐ 甘い飲み物や食べ物は控えている
- ☐ よく噛んで食べるようにしている
- ☐ かかりつけ歯科医がいる

～8020を達成し、元気にお過ごしのかたへ～

鹿児島県歯科医師会と大島郡歯科医師会より表彰状が贈られます。自薦・他薦は問いません。与論町内の歯科医院までぜひご連絡ください。★児玉歯科医院 97-4359 ★さだむら歯科医院 85-1118

お問合せ先

与論町保健センター TEL: 97-5105 FAX: 97-5110